

平成 22 年 6 月 29 日

各 位

株 式 会 社 リ ミ ッ ク ス ポ イ ン ト  
代 表 取 締 役 社 長 高 田 真 吾  
( コード 番 号 : 3 8 2 5 )  
電 話 番 号 ( 0 3 ) 6 2 0 6 - 2 2 2 0

## 当社株式の「債務超過」の猶予期間入りに関するお知らせ

当社は、本日、有価証券報告書を提出し、平成22年3月期において債務超過の状態となったことから、「有価証券上場規程 第603条第1項第3号(債務超過)」に該当するため、猶予期間入りいたしましたので、お知らせします。

### 記

#### 1. 対象となる法定開示書類

有価証券報告書(自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 3 月 31 日)

#### 2. 債務超過となった経緯

当連結会計年度におけるわが国経済は、厳しい雇用・所得環境に加え、円高、デフレの進行など、厳しい状況で推移いたしました。情報サービス業界におきましても、企業収益の悪化による設備投資の抑制や縮小などで、依然として厳しい状況であります。

このような状況のもと、当社グループは、当連結会計年度を通して既存顧客との関係強化をすすめるとともに、プロダクトの開発や販売促進を積極的に展開しながら、経営合理化などの施策を進めるなど、収益確保の実行に努めてまいりました。

しかしながら売上面におきましては、新規IT投資の圧縮による受託開発プロジェクトの凍結、利益面におきましては、コスト削減等いたしました。のれんの減損損失等により、売上916百万円(前期比37.5%減)、営業損失149百万円(前期営業損失245百万円)、経常損失175百万円(前期経常損失258百万円)、当期純損失636百万円(前期純損失475百万円)を計上し、3億70百万円の債務超過になりました。

#### 3. 猶予期間

平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日

#### 4. 今後の見通し

平成22年6月3日開催の取締役会にて決議いたしました第三者割当による新株式発行による払込及び第三者割当による新株予約権の行使による払込完了によって、当社の今連結会計年度における債務超過は解消される見込みです。

(ご参考)最近3年間の連結業績(単位:百万円)

事業年度の末日	平成20年3月期 (連結)	平成21年3月期 (連結)	平成22年3月期 (連結)
売上高	840百万円	1,466百万円	916百万円
営業利益	-350百万円	-245百万円	-149百万円
経常利益	-374百万円	-258百万円	-175百万円
当期純利益	-552百万円	-475百万円	-636百万円
純資産	363百万円	-115百万円	-370百万円
総資産	2,358百万円	1,294百万円	306百万円
1株当たり当期純利益(円)	-67,283.95円	-57,644.28円	-47,800.55円
1株当たり配当金(円)	-	-	-
1株当たり純資産(円)	43,339.27円	-14,353.88円	-23,083.78円

以上